

1. 大阪版市場化テストとは

大阪版市場化テストは、対象業務の詳細な情報を開示した上で、民間事業者等から手法を含めた事業提案を公募し、学識経験者や弁護士等で構成する「大阪版市場化テスト監理委員会（原則、公開）」での審議を経て民間開放等の方向性を決定。
外部の視点（市場化）を反映して公共サービスの質の向上と効率化を実現する。

●全体スキーム

大阪版市場化テスト監理委員会の審議

2. 今回の事業提案公募対象業務

No.	業 務 名
①	税務業務
②	府営水道管理運営業務
③	監査業務
④	府立図書館管理運営業務
⑤	宅建業免許申請受付等業務
⑥	医薬品承認申請受付等業務
⑦	居宅サービス事業者及び障がい福祉サービス事業者等指定申請受付等業務

※府営住宅家賃催告・債権回収業務については、監理委員会での審議を踏まえ現状分析をした上で、再度、監理委員会にて審議を予定。
（参考：第1弾対象業務として、職員研修業務・自動車税事務所の催告事務・建設業許可申請の受付等業務の3業務については、既に民間事業者により実施。）

3. これまでの経過

○平成 20 年 3 月 府の全業務を対象にした提案募集(3/26～6/30)【提案件数:106 件】⇒①
○平成 20 年 9 月 提案の概要と提案に対する考え方公表⇒②
○平成 20 年 10 月 監理委員会を対象業務について詳細検討⇒③
○平成 20 年 12 月 監理委員会での審議を踏まえ、新たな対象業務を決定・公表⇒④
○平成 21 年 4 月 監理委員会を対象範囲について担当部局と公開で議論[2回開催]⇒⑤

○平成 21 年 5 月 市場化テスト事業提案公募の開始(5/21～7/22)⇒⑥
○平成 21 年 6 月 市場化テスト事業提案公募説明会の開催(6/2 大阪、6/4 東京)
対象業務ごとに民間事業者との意見交換(6/9～6/24)《計47事業者》
○平成 21 年 7 月 市場化テスト事業提案公募の締切 (7/22)【7業務で48件の提案】
提案団体プレゼンテーションの実施(7/28～8/4)《計46事業者》
○平成 21 年 8 月 提案の概要公表(8/10)
○平成 21 年 8 月下旬 監理委員会での官民比較検討(8/20～8/27)⇒⑦《検討時間は約30時間》
○平成 21 年 9 月 監理委員会での公開審議(9/10)⇒⑦
○平成 21 年 9 月下旬 監理委員会での審議を踏まえ、民間委託等方向性の決定・公表⇒⑧

4. 官民比較の考え方

官民比較の審議にあたっては、基礎評価項目と具体的な官民比較の評価基準を設定。

●基礎評価項目

①サービス水準 <現状と同等程度のサービス水準を維持できること。>
②法令遵守等 <当該業務にかかわる法令や個人情報の保護等の法令遵守を行い得ること。>
【※官民比較の審査で重視すべき事項。(業務ごとに情報開示シートで明示)】

●具体的な官民比較の評価基準

①サービス水準の向上 <サービス水準の質的向上がどの程度図れるか。>
②経費の削減(事業経費等の比較)<事業経費等の合計について、現状と比較してどの程度削減することができるか。特に10%削減を一つの目安として評価を行う。>
③ ①(サービス水準の向上)と②(経費の削減)の関係は、同等程度の割合で評価。
④提案の実現可能性 <民間事業者等が提示した経費は、提案の内容を実現するにあたって著しく不合理な点はないかなどに留意して提案の評価を行う。>